

## 学校経営推進費 事業計画書

### 1. 事業計画の概要

学校名	東住吉総合高等学校
取り組む課題	B キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望進路実現率の向上</li> <li>・資格取得者数の増加、工業・建築系大学進学者数の増加</li> <li>・ビジネス系コンテストにおける出場者・成績の向上</li> <li>・学校教育自己診断における該当項目の肯定率の向上</li> </ul>
計画名	ミラアカ（未来明）プロジェクト！ ～文理融合が生徒の明るい未来を築く「学びの自走」をつくる～

### 2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画 の中期的目標			<p>2 確かな学力の育成と主体的・対話的で深い学びの実現</p> <p>（１）総合学科の特長を生かした系列の編成と自主性・自立性を育成する実業教育・キャリア教育を推進し、３年間の学びで総合的な学力を育てる。</p> <p>（２）学ぶ姿勢を確立し、基礎・基本の習得を中心に「確かな学力」の育成に努めるとともに、グループ学習を充実させる。</p> <p>（３）確かな学力の育成と主体的・対話的で深い学びの実現のための「魅力ある授業づくり」をめざして、授業改善に組織的に取り組む。</p>
事業目標			<p>①ビジネス系列・文化と教養系列と工業系列の文理融合型実習を実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新マルチメディア機器を用いて工業系列がオリジナルアイデア商品を自作し、ビジネス系列のマーケティング知識を用いて販売実習を行う。広報活動は、文化と教養系列で行う。海外姉妹校への英語での本校の取組み紹介は、英数系列で行う。</li> </ul> <p>②資格取得者数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新マルチメディア機器を活用しながら様々な学びの場で、生徒の学びの自走を図る。</li> </ul> <p>③教員の創造力・授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業充実チーム・システム管理部（R7 新規）が主催する研修体制を確立し、「生徒が自走する学び」を検討・確立する。</li> </ul>
取組みの概要	整備する 設備・物 品		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローランド DG メタルプリンタ MPX-90S ・ノートパソコン mouse K5-I7G50BK-B およびマウス ロジクール M221</li> <li>・ローランド DG Versa STUDIO GS2-24 セット ・ローランド DG レザ―箔転写機 LD-300</li> </ul>
	取組み 内容	前 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業充実チーム」で主体的・対話的で深い学びの授業展開・実践について研究を行い、教員相互の授業研究や校内研修を促進させた。また「魅力ある DX を導入した授業づくり」をめざして、職員間で授業改善ポイントの共有を図り、DX 授業作成を組織的に行った。</li> <li>・「資格取得検討チーム」で、「ドローン操作」、「3DCAD」、「IT パスポート」などの難関資格取得を系列・教科の学習の１つの目標とすることや資格取得の可能性を検討した。</li> <li>・ビジネス系列と工業系列による商品開発や試作品販売を検討し立案した。（高校生ビジネスコンテスト関西 NBC B-hack High school 2024 グランプリ受賞）</li> </ul>

		・情報系新分掌「システム管理部」、「英語教育充実 BASE in Osaka 活用チーム(以下、英語教育充実チーム)」を創設。R7 年度より運用
	初年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各系列専門教科において、難関資格に挑戦し、生徒の希望進路実現をめざす。</li> <li>・各系列において、ICT を活用した魅力的な授業を展開し、ビジネス系列と工業系列で企画立案したビジネスプランを様々なコンテストに出場させる。</li> <li>・文化と教養系列でビジネスプランの広報活動を立案する。</li> <li>・授業充実チームで、DX を利用した魅力ある授業を計画し、教員研修を実施。年度末に総括を行う。</li> <li>・教育庁の事業を通して、海外姉妹校提携を行う。</li> <li>・英語教育充実チームを中心に、英語科内で BASE in Osaka に関する研修を年 2 回行い、生徒の英語運用能力を伸ばす。</li> </ul>
	2 年め	<p>初年度の内容を継続しながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業系列とビジネス系列で企画立案作成した商品を文化祭や産業フェア等で販売実習を行う。広報は文化と教養系列で行う。英数系列で、海外姉妹校とオンライン交流を行い、本校の販売実習の様子等を英語で紹介する。</li> <li>・教員研修の中で指導方法を充実させ、生徒の学びの自走を深化させる。</li> <li>・本校の取り組みと成果を年 3 回の学校運営協議会と学校説明会にて地域中学生や保護者等に発信する。</li> <li>・「総合的な探究の時間」において、生徒による成果報告発表会を実施。（優秀者は総合学科教育研究大会で発表）</li> </ul>
	3 年め	<p>初年度と 2 年めの内容を継続しながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業充実チームや英語教育充実チームが中心となって、生徒に大学や企業と連携させることで、生徒の学びの自走や発表方法をより深化させる。</li> <li>・資格取得検討委員会が中心となり、本校の資格取得の事例に対する他校からの視察の受け入れや体験授業（年 2 回以上）を行う。地域中学生や保護者等に向けて本校の取り組みをさらに発信する。</li> <li>・「総合的な探究の時間」において、生徒による成果報告発表会を実施。（優秀者は総合学科教育研究大会で発表、最優秀者は、近畿や全国総合学科研究大会での発表をめざす）</li> <li>・留学希望者が海外姉妹校にて、本校の取り組みを現地で発表する。</li> </ul>
	取り組みの 主担・実施者	主担：首席を中心に「授業充実チーム」、「システム管理部」、「資格取得検討委員会」、「総探計画検討委員会」、「英語教育充実チーム」の 5 つの組織を連携させながら取り組みを進める。実施は全教員で行う。
成果の検証方法と評価指標	初年度	①全校生徒の資格取得者数を 240 名以上にする。（R6：238 名） ②国家資格の合格者数を 65 名以上にする。（R6：62 名） ③ビジネス系コンテストに 2 チーム以上出場する。入選 1 チーム以上とする。（R6；出場 1 チーム、入選 1 チーム） ④学校教育自己診断（生徒）における「東住吉総合高校に来て、授業や資格取得などに取り組むことで、自分の未来は明るいと思うようになった」の肯定率を 80%以上にする。（R6：78%）
	2 年め	①全校生徒の資格取得者数を 250 名以上にする。 ②国家資格の合格者数を 70 名以上にする。 ③ビジネス系コンテストに 3 チーム以上出場する。入選 2 チーム以上とする。

		④学校教育自己診断（生徒）における「東住吉総合高校に来て、授業や資格取得などに取り組むことで、自分の未来は明るいと思うようになった」の肯定率を 85%以上にする。
	<b>3 年 め</b>	①全校生徒の資格取得者数を 260 名以上にする。 ②国家資格の合格者数を 75 名以上にする。 ③ビジネス系コンテストに 4 チーム以上出場する。入選 2 チーム以上とする。 ④学校教育自己診断（生徒）における「東住吉総合高校に来て、授業や資格取得などに取り組むことで、自分の未来は明るいと思うようになった」の肯定率を 90%以上にする。